

33団体・207人表彰

岐阜市で献血感謝の集い

本年度の献血感謝の集いが29日、岐阜市藪田南のサラマンカホールで開かれた。数多く献血したり、献血に協力した33団体・個人207人が表彰された。県や、県医師会など各種団体でつくる県献血推進協議会が、献血を県民運動として盛り

本年度の献血感謝の集いが29日、岐阜市藪田南のサラマンカホールで開かれた。数多く献血したり、献血に協力した33団体・個人207人が表彰された。

古田肇知事は「県民挙げて助け合い精神を発揮し、献血が着実に進むことを期待したい」とあいさつ。組織的な献血への協力で厚労大臣表彰を受けた岐阜商工信用組合（岐阜市）や中日本航空専門

学校（関市）に表彰状を伝達したほか、献血100回、同70回の人にも表彰した。

体験発表では、11年前に急性白血病と診断され、半年間に及ぶ抗



古田肇知事から厚労大臣表彰の伝達を受ける岐阜商工信用組合の牧村昭司専務理事(左)＝岐阜市藪田南、サラマンカホール

がん剤治療や輸血によって職場復帰を果たした幼稚園教諭日比ひろみさん(53)＝養老郡養老町＝が「献血には多くの人々の優しさが詰まっている。私を含め多くの人に命と幸せを与えてくれている」と感謝を述べた。岐阜大学大学院2年荒木雅さん(23)＝岐阜市＝が「周りに献血の重要性を積極的に伝えます」と誓った。(小森直人)